

YCU PLAN

2023

(公立大学法人横浜市立大学 令和5年度 計画・予算概要)



公立大学法人 横浜市立大学

Public University Corporation Yokohama City University

はじめに

令和5年度は、第4期中期計画(令和5年度～令和10年度)の初年度となります。これまで3期18年間で積み上げてきた実績をもとに、今後6年間の中期計画達成に向けて、好スタートを切る年との位置付けのもと、令和5年度計画を策定しました。

令和5年度計画では、YCU ミッションのもと、「研究の横浜市立大学」としてさらなる発展を目指すため、大型産官学共創拠点事業を組織的に推進します。また、SDGs 推進、デジタル人材育成、働き方改革等の社会的要請にこたえていくために、法人全体のガバナンス強化とともに、自律的かつ持続可能な法人経営の実現に向けた改革に決意をもって取り組みます。

予測困難な時代において、大学に求められる役割が大きく変化する中、横浜市立大学では、豊かな教養と高い倫理観により新たな価値を創造する人材の育成、オープンイノベーションによる研究成果の社会実装、地域医療最後の砦としての医療提供などを通じて大学の存在意義を高め、横浜市民はもとより、広く国際社会に貢献する大学・病院となることを目指します。

～YCU PLAN とは～

公立大学法人横浜市立大学が当該事業年度に取り組む主な事業、年度計画をまとめた冊子です。YCU PLAN をご覧になることで、本学が取り組む当該事業年度の特徴ある事業について把握することができます。なお、過年度のものを含め、本学ウェブサイト上にて公開していますので、是非ご参照ください。
URL:<http://www.yokohama-cu.ac.jp/univ/corp/finance/index.html>

≪用語解説≫

①中期目標・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第25条・78条

設立団体(横浜市)が、法人が達成すべき業務運営に関する目標を定め、法人に対して指示したものです。なお、公立大学法人については、特例により中期目標期間が6年間となっています。

②中期計画・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第26条

設立団体(横浜市)の指示(中期目標)に基づき、法人が計画的に業務を実施し、中期目標を達成するために策定するものです。法人が策定したうえで、設立団体の長(横浜市長)の認可が必要になります。

なお、本法人においては、

第1期中期計画期間:平成17年度～平成22年度

第2期中期計画期間:平成23年度～平成28年度

第3期中期計画期間:平成29年度～令和4年度

第4期中期計画期間:令和5年度～令和10年度

であり、令和5年度は第4期中期計画期間の初年度にあたります。

③年度計画・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第27条

事業年度の開始前に、中期計画に基づき、その事業年度の業務運営に関する計画を定めたものです。当該事業年度の法人全体(教育・研究・地域貢献・国際化・附属2病院・法人経営)の取組について、個別具体的に記載した計画となります。

④予算・・・【根拠法令】地方独立行政法人法第27条 ※年度計画の一部

年度計画に基づく法人における教育、研究、診療その他の活動に関する計画を明確に計数化したものです。本法人では、大学、附属病院、附属市民総合医療センターの3部門をそれぞれ予算単位としていますが、最終的には3部門を合算して法人として表示しています。

目次

公立大学法人横浜市立大学 令和5年度計画概要図 1 頁

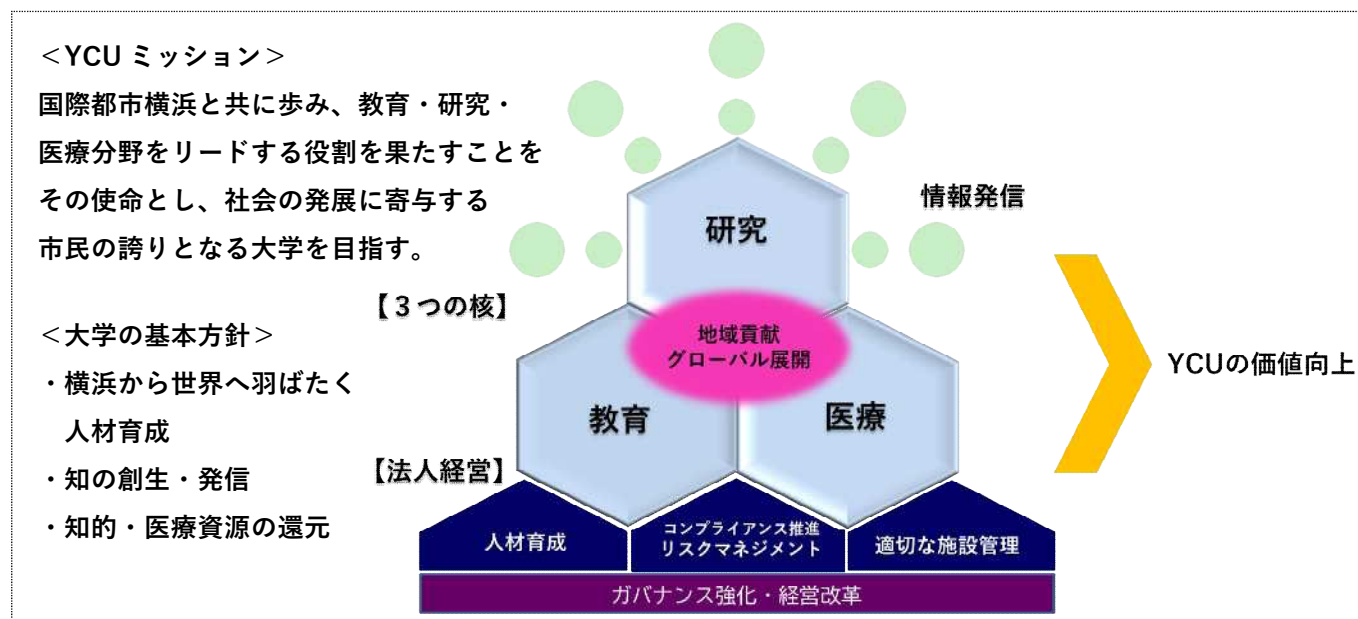
<令和5年度 主な取組>

I 教育に関する主な取組 2 頁
II 研究に関する主な取組 3 頁
III 医療に関する主な取組 4 頁
IV 法人経営に関する主な取組 6 頁

<令和5年度 見込損益計算書>

【法人全体】 8 頁
【大学】 9 頁
【附属病院】 10 頁
【附属市民総合医療センター】 11 頁
<参考>
令和5年度 法人収支計画(現金ベース) 12 頁

■第4期中期計画(令和5年度～令和10年度)の概要図



■SDGs アイコンについて

SDGsとは、国際連合が2015年に定めた、持続可能な社会実現のための17項目からなる目標(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals)の略で、2030年の達成を目指すものです。

本学では、教育・研究・法人経営各分野の取組を通じ、SDGsを推進しており、YCU PLANでは、取組ごとに関連するSDGsアイコンを記載しています。

その他の取組は本学 Web サイトをご覧ください。

https://www.yokohama-cu.ac.jp/univ/activity/sdgs/sdgs_info.html

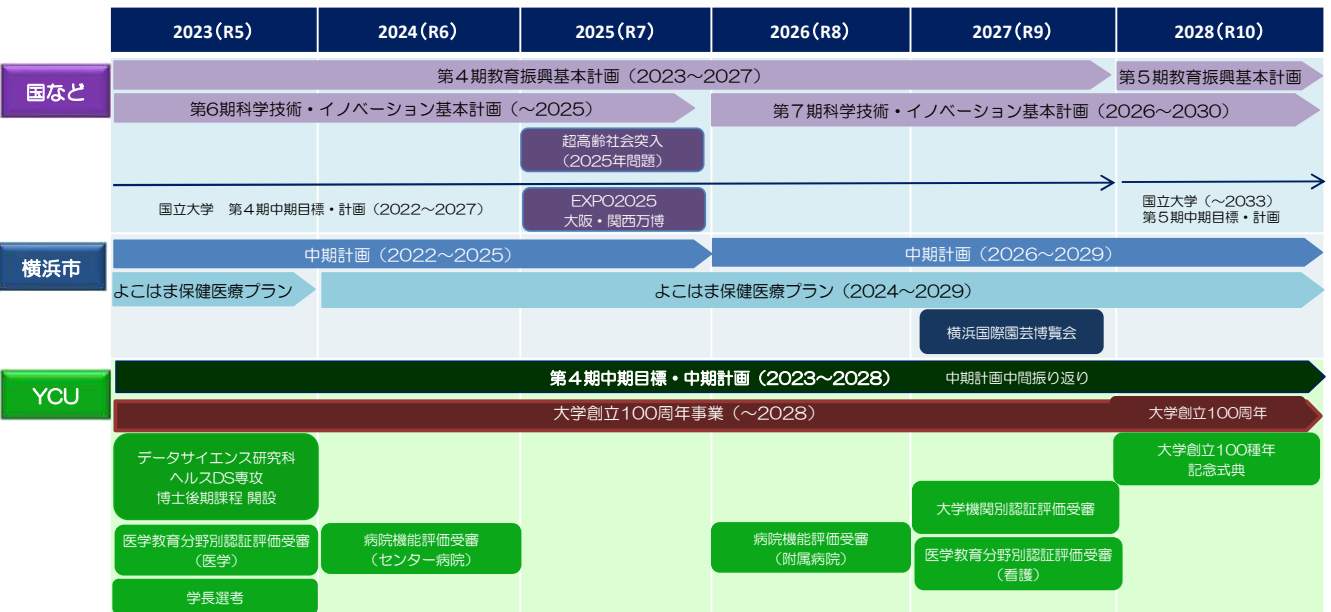


令和5年度 年度計画概要図

YCU ミッション
 国際都市横浜と共に歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す。

取組の基本方針
 ■「横浜から世界へ羽ばたく」人材育成と知の創生・発信
 ■学生・市民・社会に対して本学が有する知的・医療資源の還元

5年度の位置付け
 第4期中期計画（令和5～10年度）の初年度となる令和5年度は、これまで3期18年間で積み上げてきた実績をもとに、今後6年間の中期計画達成に向けて好スタートを切る年です。自律的かつ持続可能な法人経営に向けた改革に決意をもって取り組みます。



I 教育

(【】は計画番号)

4 質の高い教育をみんなに

- ◆高等教育推進センターを中心とした教育の質保証の推進【1】【4】
- ◆全学的なデータサイエンス教育による領域横断教育の推進、複合的な課題に取り組むことができる人材育成を目的とした共通教養教育新カリキュラムの開始【2】

- ◆データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻博士後期課程の開設【5】
- ◆グローバル教育の推進【2】【9】【10】【36】
- ◆データサイエンスや病院経営に関する履修証明プログラムを実施、みなとみらいサテライトキャンパスを活用した社会人に学びやすい環境の提供【5】【11】

II 研究

9 産学と連携協力の発展を促す

- ◆YCU連携研究コアからの新たな研究プロジェクトの展開を目指した先進的な医科学研究及びトランスレーショナルリサーチの推進【12】
- ◆JST「競争の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 事業を組織的に推進するとともに、「共創イノベーション準備室」を設置し、産学官連携によるオープンイノベーションを推進【14】
- ◆学長裁量事業（戦略的研究、学術的研究）による研究の推進【13】【15】
- ◆研究基盤の強化・新たな知見の創出に向けた研究機器の整備及び技術員の配置【15】

地域貢献・グローバル展開

17 パートナリングで目標を達成しよう

11 産学官連携の発展を促す

III 医療

(【附】は附属病院、【セ】はセンター病院)

3 すべての人に適した医療と福祉を

- ◆医療安全文化の醸成と体制の拡充【18】
- ◆専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師の育成【25】
- ◆医師の働き方改革対応への対応と労働環境の向上【33】

VI 法人経営

8 働きがいも経済成長も

- ◆新感染症等への体制整備【18】
- ◆遠隔ICUの体制整備【附】【21】
- ◆重症系病床等の拡充・改修工事の実施【附】【17】【18】
- ◆外来化学療法室及び生殖医療センターの拡充及び新Web予約システムの導入【セ】【21】【23】
- ◆広報誌やWebの充実による広報機能の強化【24】
- ◆医療機器や施設・設備の計画的な更新【21】

IV 地域貢献・グローバル展開

17 パートナリングで目標を達成しよう

11 産学官連携の発展を促す

- ◆課題解決を目指した地域社会との協働の推進【38】
- ◆医学部・病院等再整備事業の検討【40】
- ◆ダイバーシティ推進計画に基づく取組による教職員エンゲージメントの向上【33】
- ◆大学創立100周年事業の推進【34】【28】

V 学長裁量事業

◆学長裁量事業（戦略的研究、学術的研究）による研究の推進【13】【15】

◆研究基盤の強化・新たな知見の創出に向けた研究機器の整備及び技術員の配置【15】

I 教育に関する主な取組



■3つのポリシーの実現と教育の質保証の推進【1】【4】

高等教育推進センターを中心とした全学的な取組として、教学 IR 活動により明らかになった課題の解決を目的とした FD・SD 研修会を実施するとともに、医学部においては医学教育分野別評価の受審を通じてカリキュラムや授業内容の改善を進め、教育の質向上を図ります。

※3つのポリシー：卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)
入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)



■領域横断教育、共通教養教育の推進【2】

領域横断教育では、「ADEPT プログラム」(文部科学省認定 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム)により全学的なデータサイエンス教育を進めるほか、共通教養教育においては、現代社会を取り巻く複合的な課題に取り組むことができる人材の育成を目的とした新カリキュラムを開始し、社会の変化や時代に即した教育を推進します。



■グローバル教育の推進【2】【9】【10】【36】

グローバル教育では、新型コロナの経験を踏まえ、質の高い留学プログラムを提供するために既存プログラムの充実を図るとともに、市及び市内機関等と連携して、横浜ならではの国際体験の機会を提供します。

また、優秀な留学生を獲得するため、戦略的な広報活動を実施するとともに、「YCU-ADVANCED Program」によるインターンシップをはじめとしたキャリア支援を通じて留学生の国内就職を支援します。



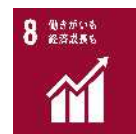
■データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻博士後期課程の開設【5】

令和 5 年 4 月にデータサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻博士後期課程を開設し、ヘルス分野の知見をベースとして、データに基づき新たな価値を創造できる専門人材を育成します。



■学修者本位の教育に向けた学修環境の提供【7】

LMS(Learning Management System)の活用を促進し、学修履歴を可視化することで学生が将来を見据えて主体的に学生生活を送ることができるよう支援します。



■社会ニーズに対応したリカレント教育の提供【5】【11】

大学の強みや特色を活かし、データサイエンスや病院経営に関する履修証明プログラムを実施するほか、今後のリカレント教育プログラム拡充に向けた検討を行います。

また、みなとみらいサテライトキャンパスの積極的な活用やオンライン講座の実施などにより、社会人にも学びやすい環境を提供します。

教育関連の主な予算

○高等教育推進センター事業	[1 百万円]
○国際化関連事業	[119 百万円]
○LMS 活用による「学修者本位の教育の高度化」	[17 百万円]

Ⅱ 研究に関する取組

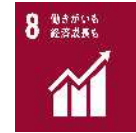


■先進的な医科学研究及びトランスレーショナルリサーチの推進【12】

YCU 連携研究コア※を推進し、新たな研究プロジェクトの展開を目指します。

YCU 連携研究コア

基礎と臨床の研究者が連携して研究を進めることで、効果的・効率的に外部研究費の獲得や臨床応用につながる新たな研究が創出されることを目的とした先端医科学研究センターのオープンプラットフォーム



■学長裁量事業(戦略的研究、学術的研究)による研究推進【13】【15】

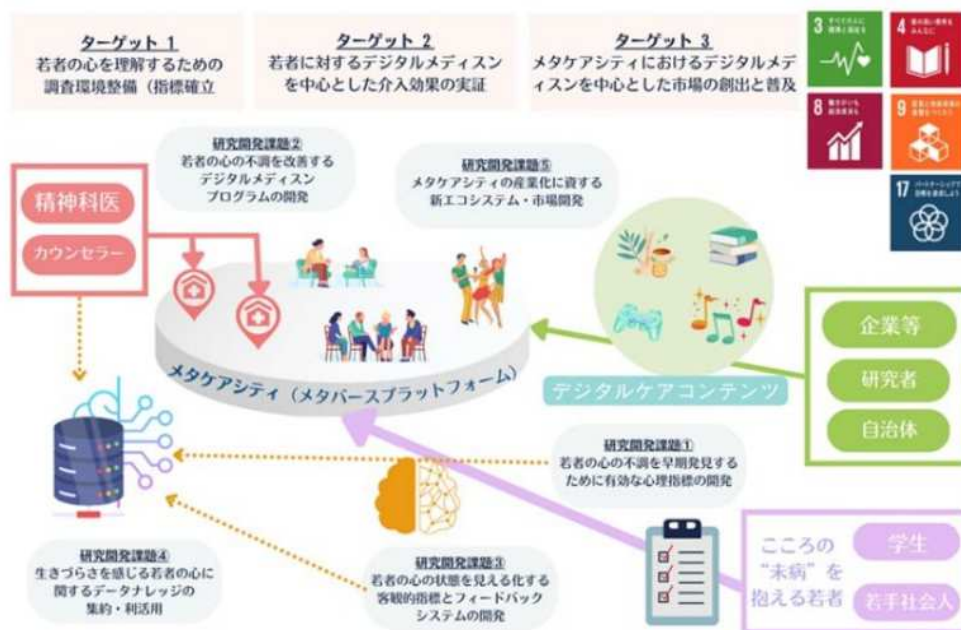
第5期戦略的研究推進事業(令和3年度～令和5年度)を推進するとともに、研究IRにより本学の「強み」や今後期待される研究分野を見出し、革新的な研究成果の創出を目指します。また、学際的研究を推進し、次の「強み」となる研究分野を創出するとともに、新たな若手研究者の支援案を策定します。



■オープンイノベーションの推進【14】

令和4年度に採択されたJST「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」事業を組織的に推進するとともに、臨床研究につながる学内シーズの発掘から社会実装までサポートする「共創イノベーションセンター準備室」を設置し、産学官連携によるオープンイノベーションを推進します。

JST 共創の場形成支援プログラム共創分野本格型 本学採択プロジェクト概要図



■研究基盤の強化・新たな知見の創出に向けた研究機器の整備及び技術員の配置【15】

福浦キャンパスに共用研究機器、医学研究データ解析用GPU・大容量メモリーサーバーを整備し、管理技術員を配置することで、若手研究者の研究時間・研究環境の確保を図ります。

研究関連の主な予算

○学長裁量事業(戦略的研究、学術的研究)	[108 百万円]
○共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)事業	[298 百万円]
○共創イノベーションセンターの設置★※収益事業化に向けた支援分	[23 百万円]
○研究機器の整備及び技術員の配置★	[100 百万円]

Ⅲ 医療に関する取組



■医療安全文化の醸成と体制の拡充【18】

医療の質向上のための体制整備事業「医療の質可視化プロジェクト」に参画して評価を行うことで、継続的な医療の質改善活動につなげます。



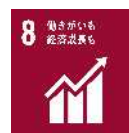
■新興感染症等への体制整備【18】

新型コロナ対応の経験を踏まえ、福祉保健センターや地域の医師会と連携して、新興感染症等の発生を想定した訓練を実施し、今後の新興感染症等への体制整備を図ります。



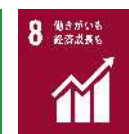
■医療機器や施設・整備の計画的な更新【21】

附属2病院間で医療機器の耐用年数を考慮し、統合に向けた計画的な購入を進めるとともに、維持保全と安全確保のための施設整備を計画的に行います。



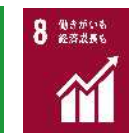
■遠隔 ICU の体制整備【附】 【21】

医療の質の向上や勤務環境の改善を図るため、複数の病院の集中治療室の医療情報をネットワーク通信でつなぎ、当院に設置した「支援センター」から集中治療専門の医師等が患者をモニタリングし、遠隔で現場の医師等に助言をする遠隔 ICU 事業に取り組んでいます。令和 5 年度、新規参画する県内医療機関に対し、従来とは異なるシステムを導入し、事業の拡大を計画しています。また、令和 6 年度診療報酬改定による保険収載後の運用開始に向けた取組を進めます。



■重症系病床等の拡充・改修工事の実施【附】 【17】【18】

特定機能病院及び高度急性期病院としての機能強化に向けて、重症系病床等の改修工事を実施します。



■外来化学療法室及び生殖医療センターの拡充【セ】 【21】【23】

がん化学療法の需要増加に対応するため、外来化学療法室を拡充します。また、県内唯一の男女いずれも診療可能な不妊治療施設として、精索静脈瘤手術、精巣内精子採取術、先進医療を含む高度生殖医療（体外受精－胚移植など）等の高度な治療を提供するため、生殖医療センターを拡充し、不妊治療の需要増加に対応します。



■新 Web 予約システムの導入【セ】【17】

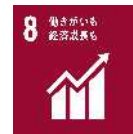
初診予約について、患者が直接予約枠の空き状況を確認し、その場で予約が確定できるようになるなど、新たな Web 予約システムを導入し、機能の拡充を図ることで、患者の利便性向上を推進します。



■広報誌や Web の充実による広報機能の強化 【24】

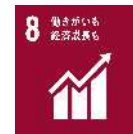
医療機関向け広報誌の発行やメール配信を行うほか、附属2病院の Web サイトを SEO※対策及びユーザビリティの向上を目的に全面的にリニューアルし、広報機能の強化を図ります。

※SEO 対策:検索結果で自社サイトを多く露出をするために行う対策のこと



■専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師の育成【25】

高度化・複雑化する医療に対応するため、臨床実習指導者講習会の受講や大学院への進学を促進するなど、看護師のスキル向上に向けた取組を進めます。



■医師の労働環境の向上【33】

平成30年6月に成立した働き方改革関連法により、令和6年4月からすべての勤務医に新たな時間外労働の上限規制が適用される予定です。そのため、医師の勤務時間の客観的把握のため、医師の出退勤管理システムを導入します。



附属病院



附属市民総合医療センター

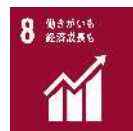
附属2病院関連の主な予算

○医療機器の更新・整備	【附】[750百万円] 【セ】[750百万円]
○施設・設備の更新・整備	【附】[590百万円] 【セ】[410百万円]
○重症系病床拡充・手術室拡充・病床個室化改修工事★	【附】[505百万円] ※
○外来化学療法室及び生殖医療センターの拡充★	【セ】[315百万円] ※
	※施設・設備の更新・整備の内数
○遠隔ICUの体制整備	【附】[119百万円]

IV 法人経営に関する主な取組

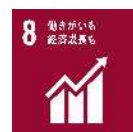
■経営改革を強力に推進するガバナンス強化【26】【30】【31】

理事長・副理事長のトップマネジメントのもと、内部統制システムに基づく業務の適正な執行をはじめとするコンプライアンスの推進に取り組み、ガバナンスを強化します。リスクマップによる日常モニタリングを実施し、リスクマネジメントの取組を進めるとともに、「個人情報取扱注意強化月間(7月)」において過去の情報漏えい事案を教訓とした再発防止の取組を継続的に実施します。



■不断の経営改革及び持続可能な経営のための自己収入確保【27】【28】【29】

18歳年齢人口が減少する中、時代の変化や社会の要請に柔軟に対応していくため、「改革推進会議」を設置し、プロジェクト形式で全学をあげた経営改革を実行します。令和5年度は、「研究の横浜市立大学」を推進するための目標設定と組織体制の整理、第3期中期計画期間中に新設・再編した学部・研究科の効果検証、DXの方針策定などに取り組みます。



■教職員エンゲージメントの向上【33】

新たに策定したダイバーシティ推進計画に基づく取組を進め、誰もが活躍できる職場環境の実現を進めるとともに、附属2病院においては、医師の働き方改革に対応するため、医師の負担軽減及び処遇の改善計画である「医師の労働時間短縮計画」を策定し、タスクシフト・タスクシェアに向けた取組を進めます。



■医学部・病院等再整備事業の検討【40】

「教育」「研究」「診療」の各領域検討委員会において、現況と課題を整理し、目指す姿や具体的機能等の検討を行い、横浜市と一体となって「再整備基本計画(原案)」を作成します。

■大学創立100周年事業の推進【34】【28】

100周年に向けた機運醸成の取組として、デジタルアーカイブのコンテンツ充実やリーフレットを発行するほか、WebサイトやSNSを通じて学内外への情報発信を強化します。併せて、周年事業の目標達成を目指し、引き続き法人トップ(理事長・学長)とファンドレイザーが中心となって渉外活動を行うとともに、法人全体で寄附意識の浸透を図ります。

周年ロゴマーク
コンセプト「パレット palette」



■課題解決を目指した地域社会との協働の推進【38】

地域貢献センターにおいて地域と大学をつなぐマッチングを進め、広く地域のニーズに応えるほか、教員地域貢献活動支援事業における効果的な支援制度の構築や、「地域貢献コーディネーター」の活動を強化することで、横浜市のシンクタンク機能としての役割を果たしていきます。

法人経営関連の主な予算

○経営基盤強化事業(目的積立金の活用による経営基盤の強化)	[942 百万円]
※各項目の★の総計	
○医学部・病院等再整備事業の検討	[21 百万円]
○大学創立100周年事業の推進	[5 百万円]
○教員地域貢献等促進事業	[35 百万円]

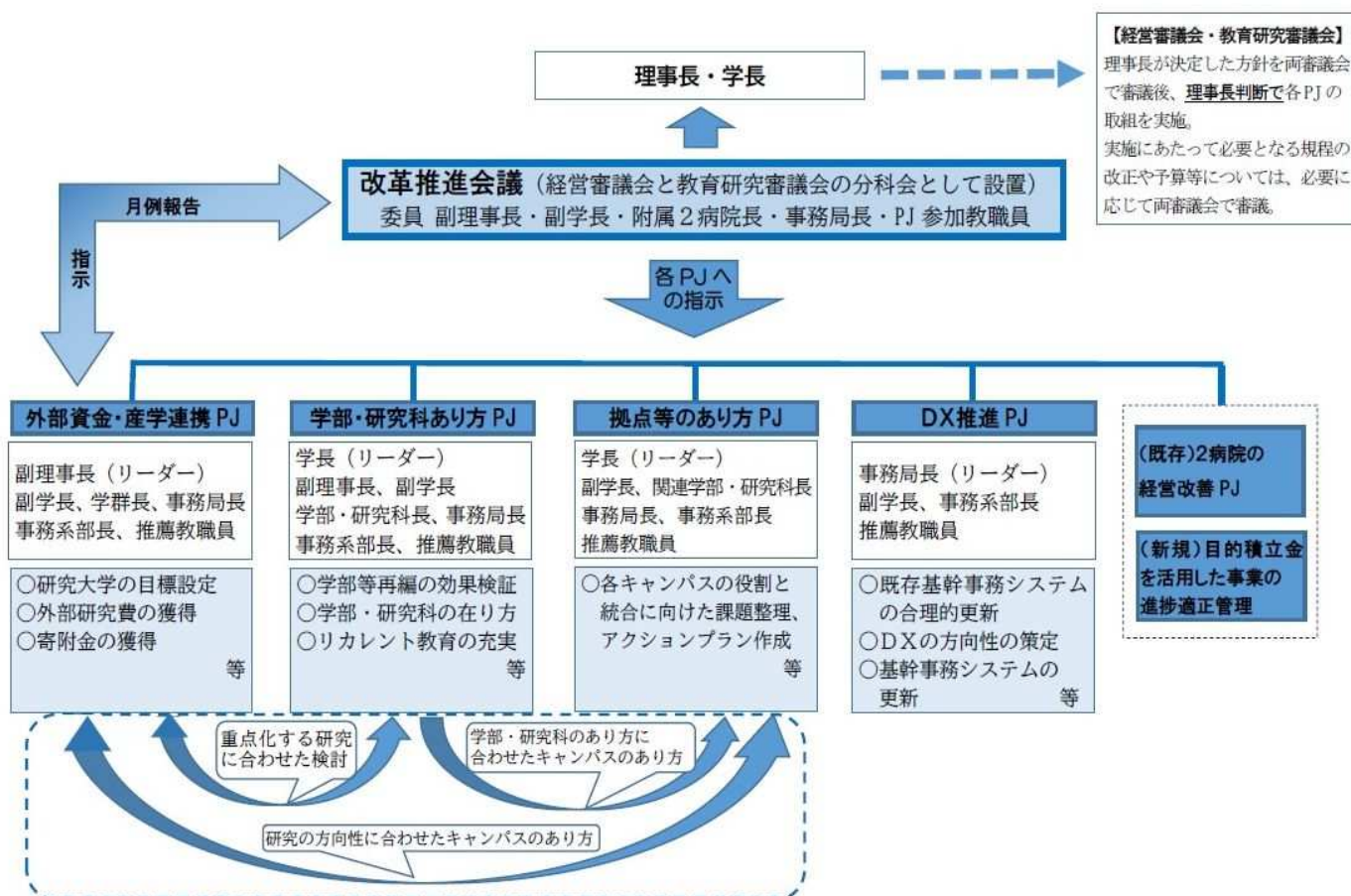
《コラム》 経営改革の取組について

18 歳年齢人口の減少や経営財源である運営費交付金の縮減など、大学を取り巻く環境が厳しさを増す中、横浜市立大学が今後「社会情勢の変化に柔軟に対応できるしなやかで芯のある大学」としてさらに発展していくため、経営審議会と教育研究審議会の分科会として新たに「改革推進会議」を設置し、さらに下部組織として5つのプロジェクトを立ち上げて、不断の経営改革を推進していきます。

「外部資金・産学連携プロジェクト」、「学部・研究科あり方プロジェクト」、「拠点等のあり方プロジェクト」、「DX推進プロジェクト」、「附属2病院の経営改善プロジェクト」の各プロジェクトの取組を「改革推進会議」において有機的につなげていくことで、法人全体の改革を確実に実行していきます。

大学に求められる役割が大きく変化する中、この難局を改革の好機と捉え、自律的かつ持続可能な法人経営の実現に向けて教職員一丸となって取組を進めていきます。

《横浜市立大学 経営改革の推進体制 概要図》



【法人全体】見込損益計算書

< 経常収益 >

(単位:百万円)

区分	R5予算	R4予算	差引
運営交付金収益	12,533	11,894	639
授業料収益等	3,125	3,148	▲ 23
医業収益	67,657	63,826	3,831
受託研究等収益	3,345	3,344	1
補助金収益	1,728	804	924
その他収益	1,404	842	562
資産見返負債戻入	0	1,741	▲ 1,741
経常収益 合計	89,792	85,599	4,193

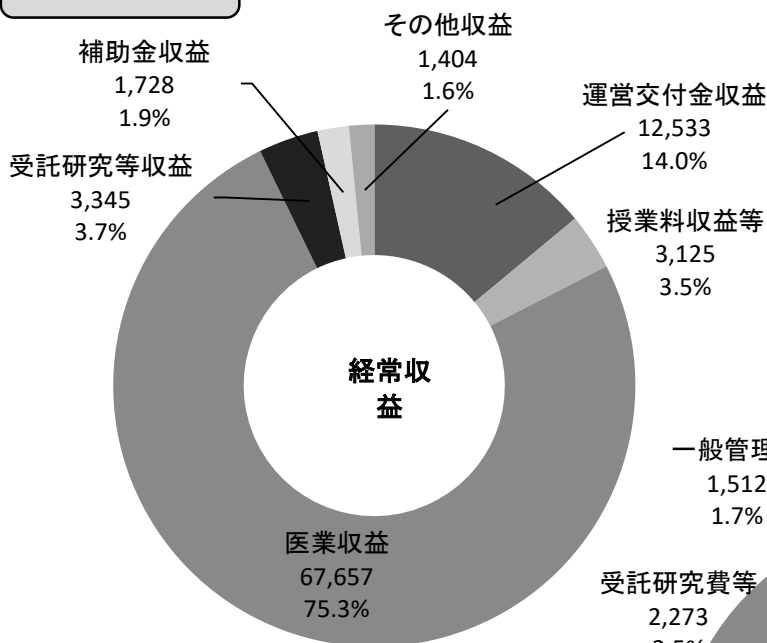
< 経常費用 >

区分	R5予算	R4予算	差引
教育研究経費	4,126	3,887	239
診療経費	40,615	36,667	3,948
人件費	37,654	36,805	849
受託研究費等	2,273	2,234	39
一般管理費	1,512	1,392	120
財務費用等	42	33	9
減価償却費	5,051	4,581	470
経常費用 合計	91,273	85,599	5,674

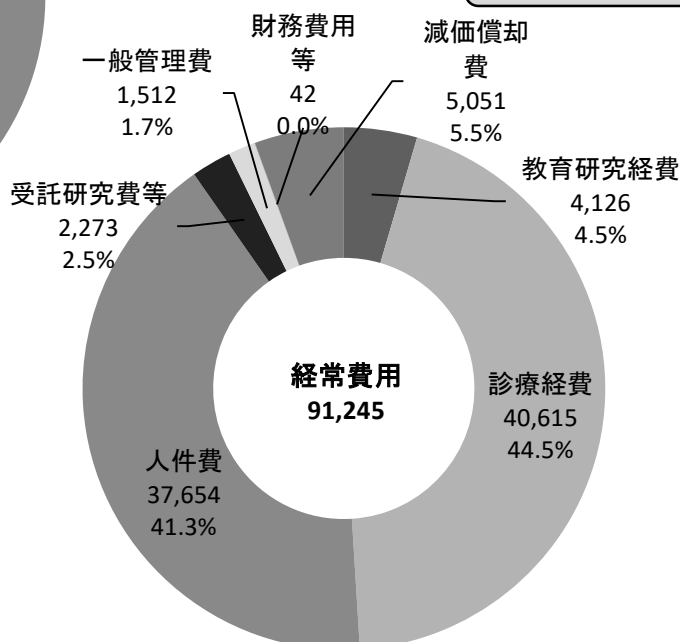
臨時利益	441	0	441
臨時損失	0	0	0
臨時損益	441	0	441
当期純損益	▲ 1,040	0	▲ 1,040
目的積立金取崩額	1,040	0	1,040
当期総損益	0	0	0

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

経常収益



経常費用



【大学】見込損益計算書

(単位:百万円)

<経常収益>

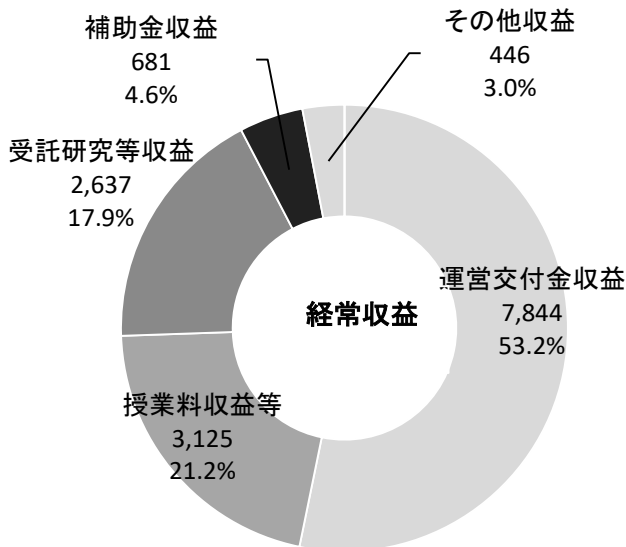
区分	R5予算	R4予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	7,844	7,441	403	会計基準改訂による増
授業料収益等	3,125	3,148	▲ 23	学生数(実員)の減
受託研究等収益	2,637	2,544	93	実績見込による増
補助金収益	681	493	188	会計基準改訂による増
その他収益	446	324	122	
資産見返負債戻入	0	525	▲ 525	会計基準改訂による皆減
経常収益 合計	14,732	14,475	257	

<経常費用>

区分	R5予算	R4予算	差引	主な増減等
教育経費	1,450	1,303	147	光熱水費の増
研究経費	1,855	1,884	▲ 29	光熱水費の増、奨学寄附金の減
教育研究支援経費	438	389	49	光熱水費の増
人件費	7,889	7,803	86	職員人件費の増
受託研究費等	1,565	1,442	123	実績見込による増
一般管理費	969	902	67	消費税納付額の増
財務費用等	3	2	1	
減価償却費	908	750	158	償却対象資産の増
経常費用 合計	15,078	14,475	603	

臨時利益	0	0	0	
臨時損失	0	0	0	
臨時損益	0	0	0	
当期純損益	▲ 345	0	▲ 345	
目的積立金取崩額	345	0	345	光熱水費への充当
当期総損益	0	0	0	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

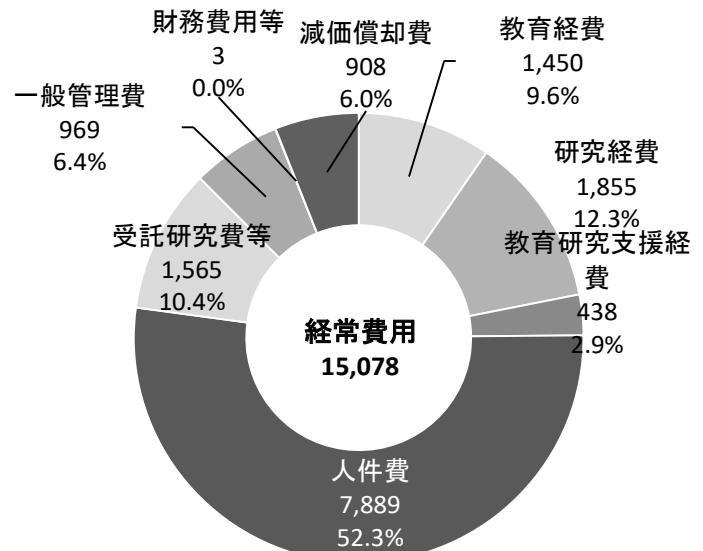


経常収益

- 運営交付金収益
学費対象経費、学費対象外経費、退職手当(市負担分)
- 授業料収益等
授業料等 2,736
入学検定料 302
入学金 87
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)
受託・共同研究、奨学寄附金、補助金等
- その他収益
実験実習費・施設整備費(学生納付金)、寄附金、エクステンション講座収入等

経常費用

- 教育経費、教育研究支援経費
教材・実習費、授業料減免、図書館運営費、教育関連機器・設備維持管理費等
- 研究経費
補助金、奨学寄附金等の外部研究費等
- 受託研究費等
受託・共同研究、受託・共同事業
- 人件費
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等
八景C固有地賃借料、施設管理等の経費、損害保険料、リース支払利息、為替差損等



【附属病院】見込損益計算書

＜経常収益＞ (単位:百万円)

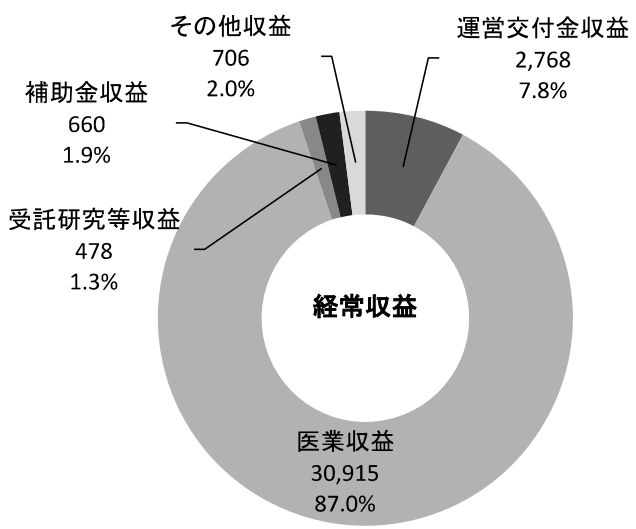
区分	R5予算	R4予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	2,768	2,769	▲ 1	
医業収益	30,915	29,451	1,464	診療単価の増に伴う収入の増
受託研究等収益	478	581	▲ 103	実績見込による減
補助金収益	660	235	425	会計基準改訂による増
その他収益	706	284	422	土地貸付料の増
資産見返負債戻入	0	667	▲ 667	会計基準改訂による皆減
経常収益 合計	35,526	33,988	1,538	

＜経常費用＞

区分	R5予算	R4予算	差引	主な増減等
教育研究経費	206	143	63	光熱水費の増
診療経費	18,725	17,529	1,196	材料費の増
人件費	14,285	13,587	698	職員人件費の増
受託研究費等	478	581	▲ 103	実績見込による減
一般管理費	258	230	28	システム導入による増
財務費用等	28	12	16	ファイナンスリース費用の増
減価償却費	2,179	1,905	274	償却対象資産の増
経常費用 合計	36,158	33,988	2,170	

臨時利益	295	0	295	会計基準改訂による増
臨時損失	0	0	0	
臨時損益	295	0	295	
当期純損益	▲ 337	0	▲ 337	
目的積立金取崩額	337	0	337	光熱水費への充当
当期総損益	0	0	0	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

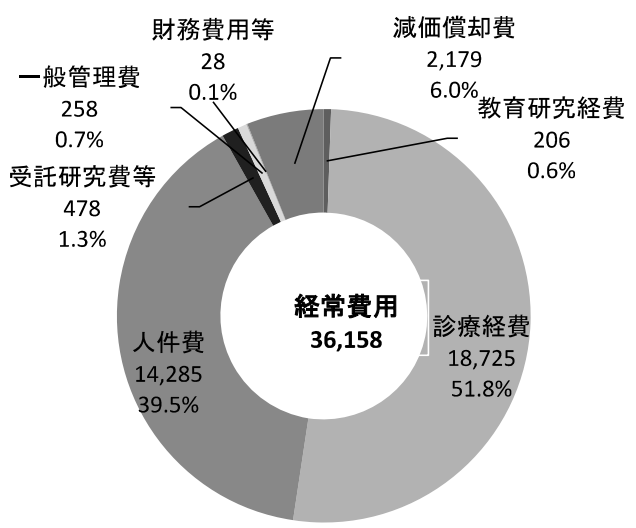


経常収益

- 運営交付金収益
収益的収支(退職手当市負担含む)、資本的収支
- 医業収益
入院診療収益 19,967
外来診療収益 10,655
その他(査定減含む) 293
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)
治験、臨床研修費補助金等
- その他収益
駐車場利用料、院内保育料、看護宿舎料等

経常費用

- 教育研究経費
臨床研修関連費用、病院研究費等
- 診療経費
材料費 13,324
委託費 2,731
その他 2,670
- 受託研究費等
治験関連費用
- 人件費
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等
施設管理等の経費、損害保険料、リース支払利息



【附属市民総合医療センター】見込損益計算書

(単位:百万円)

<経常収益>

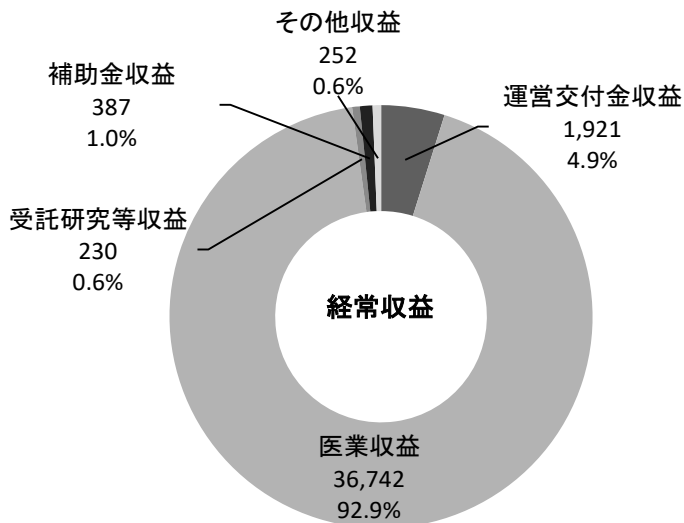
区分	R5予算	R4予算	差引	主な増減等
運営交付金収益	1,921	1,684	237	会計基準改訂による増
医業収益	36,742	34,375	2,367	診療単価および患者数の増に伴う収益の増
受託研究等収益	230	210	20	
補助金収益	387	76	311	会計基準改訂による増
その他収益	252	241	11	
資産見返負債戻入	0	549	▲ 549	会計基準改訂による皆減
経常収益 合計	39,533	37,135	2,398	

<経常費用>

区分	R5予算	R4予算	差引	主な増減等
教育研究経費	177	168	9	
診療経費	21,890	19,138	2,752	医薬材料費・光熱水費の増
人件費	15,480	15,415	65	働き方改革への対応に向けた手当の増
受託研究費等	230	210	20	
一般管理費	285	259	26	火災保険料の増
財務費用等	11	19	▲ 8	
減価償却費	1,964	1,926	38	償却対象資産の増
経常費用 合計	40,036	37,135	2,901	

臨時利益	145	0	145	会計基準改訂による増
臨時損失	0	0	0	
臨時損益	145	0	145	
当期純損益	▲ 358	0	▲ 358	
目的積立金取崩額	358	0	358	光熱水費への充当
当期総損益	0	0	0	

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

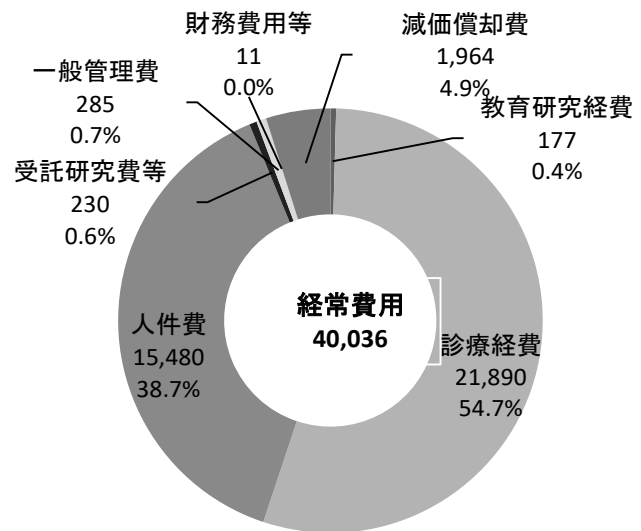


経常収益

- 運営交付金収益
収益的収支(退職手当市負担含む)、資本的収支
- 医業収益
入院診療収益 24,087
外来診療収益 12,509
その他(査定減含む) 146
- 外部資金(受託研究等収益、補助金収益)
治験、臨床研修費補助金等
- その他収益
駐車場利用料、院内保育料、看護宿舍料等

経常費用

- 教育研究経費
臨床研修関連費用、病院研究費等
- 診療経費
材料費 15,383
委託費 3,313
その他 3,179
- 受託研究費等
治験関連費用
- 人件費
教員給与、職員給与、退職手当関連
- 一般管理費、財務費用等
施設管理等の経費、損害保険料、リース支払利息



参考 令和5年度 法人収支計画(現金ベース)

<収益的収支>

(単位:百万円)

	令和5年度予算
運営交付金 A	10,862
自己収入	72,848
授業料及び入学金検定料	2,922
附属病院収入	67,657
補助金収入	753
その他収入	1,516
受託研究収入等	3,344
貸付金収入(奨学金返還金)	7
目的積立金取崩額 C	1,040
収益的収入 合計	88,101

	令和5年度予算
業務費	84,339
教育研究経費	3,973
診療経費	41,619
一般管理費	1,621
人件費	37,126
貸付金(奨学金)	81
受託研究費等	2,449
収益的支出 合計	86,869

<資本的収支>

(単位:百万円)

	令和5年度予算
運営交付金 B	1,671
長期借入金収入	1,500
目的積立金取崩額 D	889
負担金	0
資本的収入 合計	4,060

	令和5年度予算
施設整備費	3,098
長期借入金償還金	1,500
資本的支出 合計	4,598

<参考>

(単位:百万円)

	令和5年度予算
全体(収入-支出)	694
目的積立金取崩額 C+D	1,929
運営交付金交付額 A+B	12,533

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。